



2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 ギークス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7060 URL https://geechs.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 曾根原稔人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐久間大輔 (TEL) 050-1741-6928
 定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月11日
 有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	23,739	48.4	362	—	90	△84.6	82	△85.5	△1,473	—
2023年3月期	15,997	11.6	—	—	589	△48.0	567	△50.0	244	△65.4

(注) 包括利益 2024年3月期 △1,516百万円(—%) 2023年3月期 239百万円(△65.9%)

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	△142.75	—	△41.5	1.0	0.4
2023年3月期	23.20	22.99	5.6	6.3	3.7

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 ー百万円 2023年3月期 ー百万円

(注) 2024年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	7,174	3,070	39.2	272.09
2023年3月期	8,999	4,687	47.7	416.94

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,809百万円 2023年3月期 4,295百万円

(注) 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値においては、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△3	317	△330	3,749
2023年3月期	688	△1,560	1,274	3,755

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	103	43.1	2.2
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00	103	—	2.7
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00		30.7	

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	26,300	10.8	670	85.0	550	505.3	545	560.7	336	—	32.54

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 社（社名）、除外 1社（社名）G2 Studios株式会社

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	10,325,669株	2023年3月期	10,604,880株
② 期末自己株式数	2024年3月期	—株	2023年3月期	301,451株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	10,321,116株	2023年3月期	10,524,644株

(参考) 個別業績の概要

1. 2024年3月期の個別業績（2023年4月1日～2024年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	14,217	9.8	555	△4.5	597	0.1	△501	—
2023年3月期	12,946	16.9	581	6.7	596	3.3	323	△11.2
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2024年3月期	△48.57		—					
2023年3月期	30.73		30.46					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	6,225	2,985	46.8	282.43
2023年3月期	6,671	3,591	52.8	341.64

(参考) 自己資本 2024年3月期 2,916百万円 2023年3月期 3,520百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	6
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(会計方針の変更)	14
(企業結合等関係)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、2023年1月16日（みなし取得日2023年1月1日）に行われたLaunch Group Holdings Pty Ltdとの企業結合において、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定したため、前連結会計年度との比較・分析にあたっては、暫定的な会計処理の確定による見直し後の金額を用いています。

当社グループはグランドビジョンに「21世紀で最も感動を与えた会社になる」を掲げ、ITフリーランスのデータベース、グローバルで活躍するITエンジニア育成など人材インフラを活かし、インターネットの普及によりめまぐるしく変化する人々の生活や企業の行動を積極的に捉え、変化対応力を強みに、提供サービスの創造・進化を通じて常に成長し続けることで、永続的な企業価値向上を目指しております。当社グループは子会社6社を含む全5事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業（国内）」、「IT人材事業（海外）」、「G2 Studios事業」、「Seed Tech事業」、「その他」の5つに分類されております。

なお、当連結会計年度より、セグメント区分を変更しており、前連結会計年度の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数字で比較分析しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや雇用情勢の改善がみられるなど、景気は緩やかに回復しました。一方、世界的な金融引締めや高止まりするインフレの影響によって、景気の先行きについては注視が必要な状態が継続しております。

このような状況下、当社グループは、これまで培ってきたITフリーランスやオフショアIT人材活用のノウハウを活かすべく、主に事業ポートフォリオの最適化についてグループ戦略の見直しを行ってまいりました。その一環として、2024年3月29日付でスマートフォン向けゲームアプリの企画・開発・運営を行うG2 Studios株式会社の株式を譲渡いたしました。

一方で、ITやAI技術の活用やデジタルトランスフォーメーションの推進によって、国内のIT市場規模は今後さらに拡大することが見込まれます。今後は技術リソースのシェアリングやIT人材育成サービス等の従前の事業に加えて、DX/IT人材・組織コンサルティング、ITコンサルティング、システム開発など事業領域の拡大を行い、日本のIT人材不足を解決する会社として総合的なITソリューションサービスを提供するグループとなるべく事業体制を構築してまいります。

このような状況の中、当連結会計年度の売上高は23,739,835千円（前期比48.4%増）、営業利益は90,859千円（同84.6%減）、経常利益は82,483千円（同85.5%減）、親会社株主に帰属する当期純損失は1,473,379千円（前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益244,215千円）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

<IT人材事業（国内）>

IT人材事業（国内）におきましては、ITフリーランスの需要は高く、事業は好調に推移いたしました。計画的に広告宣伝投資を抑制しつつ、組織強化のための採用強化と社内教育体制の拡充による強固な体制作り注力してまいりました。

当連結会計年度におけるインボイス制度の施行に伴い「免税事業者等からの仕入れにかかる経過措置」を適用しております。その結果、当社を利用する免税事業者のITフリーランスは施行前と同水準の報酬を得ることが可能となる一方で、当社においては報酬の一部が仕入税額控除不可となり売上原価が増加しております。しかし、制度施行前より当影響を見越したテイクレートの見直しを図ってございましたため、獲得利益にかかる影響は限定的となりました。

この結果、当連結会計年度における当該事業分野の売上高は14,089,473千円（前期比10.4%増）、セグメント利益は1,143,739千円（同7.9%増）となりました。

<IT人材事業（海外）>

IT人材事業（海外）は、豪州でIT人材サービス事業を行うLaunch Group Holdings Pty Ltdの業績を織り込んでおります。当連結会計年度においては、包括的な人材管理ソリューションを提供するMSP（Managed Services Providers）事業の新規契約獲得に注力してはいたしましたが、想定よりも受注が遅れ、当期業績は取得時計画を大きく下回る結果となりました。修正計画による将来キャッシュ・フローに基づき価値評価を行った結果、のれん及び顧客関連資産について減損損失1,556,996千円を計上いたしました。なお、上記顧客関連資産に対応する繰延税金負債

の取崩しを考慮すると、親会社株主に帰属する当期純利益への影響額は△1,226,199千円となりました。

この結果、当連結会計年度における当該事業分野の売上高は7,162,173千円、セグメント損失は135,083千円となりました。

<G2 Studios事業>

G2 Studios事業におきましては、株式会社バンダイナムコオンラインが配信する「アイドルリッシュセブン」や株式会社バンダイナムコエンターテインメントが配信する「僕のヒーローアカデミア ULTRA IMPACT」等のタイトルの運営と新規開発を行ってまいりました。下半期における一部タイトルの運用終了や新規受注の遅れによりセグメント利益は赤字となりました。なお、2024年3月29日において全株式の株式譲渡を行ったため、2025年3月期より連結対象から除外されます。

この結果、当連結会計年度における当該事業分野の売上高は2,111,376千円（前期比27.1%減）、セグメント損失は356,674千円（前期はセグメント利益121,198千円）となりました。

<Seed Tech事業>

Seed Tech事業におきましては、日本とフィリピンに拠点を構え、IT人材の育成を軸にした事業展開を行っております。SaaS型DX/IT人材育成サービス「ソダテク」の提供や、フィリピンセブ島へのIT留学事業、オフショア開発受託事業を行っております。当連結会計年度において、IT職未経験の若者にIT人材としてのキャリアをスタートするための研修および実務機会を与える「Seed Tech Camp」を開始するなどIT人材の育成に取り組んでまいりました。

この結果、当連結会計年度における当該事業分野の売上高は281,502千円（前期比59.9%増）、セグメント損失は23,132千円（前期はセグメント損失31,652千円）となりました。

<その他>

その他の事業におきましては、ギークス㈱のx-Tech事業が属しており、ゴルフ等のスポーツ領域を中心としたデジタルマーケティング支援やD2C支援を行っております。

この結果、当連結会計年度における当該事業分野の売上高は128,446千円（前期比29.9%減）、セグメント利益は4,398千円（同88.9%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比較して108,102千円減少し6,301,213千円となりました。これは主に前払費用が27,063千円増加した一方で、売掛金及び契約資産が155,466千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して1,717,140千円減少し872,923千円となりました。これは主に、のれんが944,794千円、顧客関連資産が675,666千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は7,174,136千円となり、前連結会計年度末と比較して1,825,242千円減少しました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比較して226,888千円増加し2,603,834千円となりました。これは主に、未払法人税等が105,642千円、未払消費税等が48,374千円、リース債務が41,635千円増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して435,286千円減少し1,499,661千円となりました。これは主に、繰延税金負債が197,456千円、長期借入金が172,008千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,103,495千円となり、前連結会計年度末と比較して208,397千円減少しました。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末と比較して1,616,844千円減少し、3,070,641千円となりました。これは主に、利益剰余金が1,897,598千円、自己株式が321,184千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は39.2%（前連結会計年度末は47.7%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度に比べ5,307千円減少し、3,749,726千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少額は、3,827千円となりました(前年同期は688,038千円の増加)。これは主に、減損損失1,556,996千円、税金等調整前当期純損失1,467,999千円、法人税等の支払額234,170千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は、317,149千円となりました(前年同期は1,560,893千円の支出)。これは主に、連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入336,938千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、330,211千円となりました(前年同期は1,274,450千円の増加)。これは主に、長期借入金の返済による支出172,008千円、配当金の支払額103,524千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2025年3月期の業績につきましては、IT人材不足が課題となっている企業に高い技術を持ったフリーランスをシェアリングするIT人材事業、リスクリングサービスによって組織内からのIT人材創出を後押しするIT人材育成事業に加えて、DX/IT人材・組織コンサルティング、ITコンサルティング、システム開発など事業領域の拡大の検討を進めながら、日本のIT人材不足を解決する会社として総合的なITソリューションサービスを提供するグループとなるべく事業体制を構築してまいります。

次期の業績見通しにつきましては、売上高は26,300百万円（前期比10.8%増）、営業利益は550百万円（前期比505.3%増）、経常利益は545百万円（前期比560.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は336百万円（当会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失1,473百万円）を見込んでおります。

(単位：千円)

	当会計年度 (実績)	翌会計年度 (業績予想)	対前期増減率 (%)
売上高	23,739,835	26,300,000	10.8%
IT人材事業（国内）	14,089,473	15,800,000	12.1%
IT人材事業（海外）（注1）	7,162,173	10,000,000	39.6%
G2 Studios事業（注2）	2,111,376	—	—
Seed Tech事業	281,502	400,000	42.1%
その他（注3）	128,446	100,000	△22.1
調整額	△33,136	—	—
営業利益	90,859	550,000	505.3%
IT人材事業（国内）	1,143,739	1,280,000	11.9%
IT人材事業（海外）（注1）	△135,083	0	—
G2 Studios事業（注2）	△356,674	—	—
Seed Tech事業	△23,132	50,000	—
その他（注3）	4,398	0	—
全社費用及び調整額	△542,388	△780,000	—
EBITDA	362,120	670,000	85.0%
経常利益	82,483	545,000	560.7%
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△1,473,379	336,000	—

(注1) IT人材事業（海外）の業績は、想定為替レートを豪1ドル=99円として日本円換算しております。

(注2) 当会計年度より、従来のゲーム事業をG2 Studios事業へ名称を変更しております。なお、当連結会計年度において、当社連結子会社でありましたG2 Studios株式会社の全株式を譲渡したことに伴い、連結の範囲から除外したことから、翌連結会計年度よりG2 Studios事業の報告セグメントを廃止することといたしました。

(注3) 当会計年度より、従来のx-Tech事業をその他へ変更しております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,755,033	3,749,726
売掛金及び契約資産	2,475,031	2,319,565
仕掛品	4,139	496
貯蔵品	340	169
前渡金	11,274	11,176
前払費用	80,420	107,483
その他	97,429	127,893
貸倒引当金	△14,354	△15,298
流動資産合計	6,409,315	6,301,213
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,205	9,266
車両運搬具(純額)	805	706
工具、器具及び備品(純額)	9,695	7,959
リース資産(純額)	105,095	65,120
有形固定資産合計	126,800	83,052
無形固定資産		
のれん	944,794	—
顧客関連資産	1,182,894	507,228
その他	2,316	2,499
無形固定資産合計	2,130,006	509,727
投資その他の資産		
投資有価証券	80,425	34,834
敷金及び保証金	126,595	127,229
長期前払費用	2,212	3,166
繰延税金資産	30,591	39,347
その他	93,431	75,564
投資その他の資産合計	333,256	280,143
固定資産合計	2,590,063	872,923
資産合計	8,999,379	7,174,136

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,139,927	1,149,401
未払金	250,135	236,981
未払費用	223,910	224,650
未払法人税等	193,675	299,317
未払消費税等	227,814	276,189
預り金	68,901	69,942
契約負債	23,675	58,851
リース債務	54,009	95,645
一年以内返済長期借入金	172,008	172,008
その他	22,887	20,845
流動負債合計	2,376,945	2,603,834
固定負債		
リース債務	121,996	45,786
長期借入金	1,504,990	1,332,982
繰延税金負債	300,654	103,198
資産除去債務	3,949	4,269
その他	3,357	13,424
固定負債合計	1,934,947	1,499,661
負債合計	4,311,892	4,103,495
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,109,972	1,112,183
資本剰余金	1,059,915	1,062,126
利益剰余金	2,453,772	556,174
自己株式	△321,184	—
株主資本合計	4,302,476	2,730,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,348	3,470
為替換算調整勘定	△13,938	75,572
その他の包括利益累計額合計	△6,589	79,042
新株予約権	71,007	68,820
非支配株主持分	320,591	192,294
純資産合計	4,687,486	3,070,641
負債純資産合計	8,999,379	7,174,136

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	15,997,838	23,739,835
売上原価	12,999,123	19,595,727
売上総利益	2,998,714	4,144,107
販売費及び一般管理費	2,409,304	4,053,248
営業利益	589,410	90,859
営業外収益		
受取利息	40	2,752
業務受託収入	600	450
受取賃貸料	—	7,070
その他	399	1,786
営業外収益合計	1,039	12,060
営業外費用		
支払利息	2,405	18,287
為替差損	19,844	1,814
その他	279	333
営業外費用合計	22,529	20,435
経常利益	567,920	82,483
特別利益		
関係会社株式売却益	—	10,652
新株予約権戻入益	—	35,861
特別利益合計	—	46,513
特別損失		
減損損失	—	1,556,996
投資有価証券評価損	59,949	40,000
特別損失合計	59,949	1,596,996
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	507,970	△1,467,999
法人税、住民税及び事業税	227,826	373,957
法人税等調整額	35,869	△219,928
法人税等合計	263,695	154,029
当期純利益又は当期純損失(△)	244,275	△1,622,028
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	59	△148,649
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	244,215	△1,473,379

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	244,275	△1,622,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,348	△3,878
為替換算調整勘定	△11,885	109,855
その他の包括利益合計	△4,537	105,977
包括利益	239,739	△1,516,051
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	240,050	△1,387,754
非支配株主に係る包括利益	△311	△128,296

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,101,531	1,051,474	2,314,803	△21,252	4,446,556	△2,426	-	△2,426	26,718	12	4,470,860
当期変動額											
新株の発行	8,441	8,441			16,883						16,883
剰余金の配当			△105,246		△105,246						△105,246
親会社株主に帰属する当期純利益			244,215		244,215						244,215
自己株式の取得				△299,931	△299,931						△299,931
新株予約権の発行									50,116		50,116
新株予約権の失効									△5,828		△5,828
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△11,511	7,348	△4,162	-	320,579	316,416
当期変動額合計	8,441	8,441	138,968	△299,931	△144,079	△11,511	7,348	△4,162	44,288	320,579	216,625
当期末残高	1,109,972	1,059,915	2,453,772	△321,184	4,302,476	△13,938	7,348	△6,589	71,007	320,591	4,687,486

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	為替換算調整勘定	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	1,109,972	1,059,915	2,453,772	△321,184	4,302,476	△13,938	7,348	△6,589	71,007	320,591	4,687,486
当期変動額											
新株の発行	2,210	2,210			4,421						4,421
剰余金の配当			△103,034		△103,034						△103,034
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,473,379		△1,473,379						△1,473,379
自己株式の消却			△321,184	321,184	—						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						89,510	△3,878	85,632	△2,187	△128,296	△44,851
当期変動額合計	2,210	2,210	△1,897,598	321,184	△1,571,992	89,510	△3,878	85,632	△2,187	△128,296	△1,616,844
当期末残高	1,112,183	1,062,126	556,174	—	2,730,484	75,572	3,470	79,042	68,820	192,294	3,070,641

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	507,970	△1,467,999
減価償却費	17,695	161,889
のれん償却額	—	75,697
減損損失	—	1,556,996
株式報酬費用	44,288	33,674
新株予約権戻入益	—	△35,861
投資有価証券評価損益 (△は益)	59,949	40,000
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	△10,652
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,823	697
受取利息及び受取配当金	△40	△2,752
支払利息	2,405	18,287
為替差損益 (△は益)	19,844	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	60,396	△207,530
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,815	2,756
仕入債務の増減額 (△は減少)	102,043	49,278
契約負債の増減額 (△は減少)	13,096	33,598
未払消費税等の増減額 (△は減少)	41,650	△10,852
その他	2,511	8,824
小計	884,451	246,050
利息及び配当金の受取額	40	2,752
利息の支払額	△2,539	△18,460
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△193,913	△234,170
営業活動によるキャッシュ・フロー	688,038	△3,827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,483	△3,833
無形固定資産の取得による支出	△1,500	△967
敷金及び保証金の差入による支出	△1,294	△16,489
敷金及び保証金の回収による収入	2,414	1,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	336,938
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,554,330	—
その他	299	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,560,893	317,149
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,720,000	—
長期借入金の返済による支出	△43,002	△172,008
リース債務の返済による支出	△14,571	△59,100
株式の発行による収入	16,883	4,421
自己株式の取得による支出	△299,931	—
配当金の支払額	△104,927	△103,524
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,274,450	△330,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,759	11,582
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	397,835	△5,307
現金及び現金同等物の期首残高	3,357,198	3,755,033
現金及び現金同等物の期末残高	3,755,033	3,749,726

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(企業結合に係る暫定的な会計処理の確定)

2023年1月16日に行われた、Launch Group Holdings Pty Ltdとの企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当連結会計年度に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、当連結会計年度の連結財務諸表に含まれる比較情報において取得原価の当初配分額に重要な見直しが反映されております。

この結果、暫定的に算定されたのれんの金額は1,524,413千円から579,618千円減少し、944,794千円となっております。

また、前連結会計年度末における繰延税金資産は55,833千円減少し、顧客関連資産は1,182,894千円、繰延税金負債は299,034千円、非支配株主持分は248,407千円それぞれ増加しております。

なお、のれん及び顧客関連資産の償却期間はそれぞれ13年であります。

(子会社株式の譲渡)

1. 株式譲渡の概要

(1) 株式譲渡の相手先の名称

THE FIRST株式会社

(2) 株式譲渡した子会社の名称及び事業内容

子会社の名称 G2 Studios株式会社

事業内容 スマートフォン向けゲームアプリの企画・開発・運営

(3) 株式譲渡を行った主な理由

当社グループの事業ポートフォリオの最適化を図るため、株式譲渡を決定いたしました。

(4) 株式譲渡日

2024年3月29日

(5) 法的形式を含むその他取引の概要に関する事項

受取対価を現金等の財産のみとする株式譲渡

2. 実施した会計処理の概要

(1) 譲渡損益の金額

関係会社株式売却益 10,652千円

(2) 譲渡した子会社に係る資産及び負債の適正な帳簿価額並びにその主な内訳

流動資産	978,230千円
固定資産	1,170 "
資産合計	979,400 "
流動負債	147,526 "
固定負債	108 "
負債合計	147,634 "

(3) 会計処理

当該譲渡株式の連結上の帳簿価額と売却価額との差額を「関係会社株式売却益」として特別利益に計上しております。

3. 譲渡した子会社が含まれていた報告セグメント

G2 Studios事業

4. 当連結会計年度の連結損益計算書に計上されている株式譲渡した子会社に係る損益の概算額

売上高	2,111,376千円
営業損失	△356,674千円

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために当社の取締役会に定期的に報告される対象となっているものです。

当社グループは子会社6社を含む全5事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業（国内）」、「IT人材事業（海外）」、「G2 Studios事業」、「Seed Tech事業」、「その他」の5つに分類されております。

(2) 各報告セグメントに属するサービスの種類

「IT人材事業（国内）」は主にITフリーランスと企業とのマッチングサービスを提供しております。「IT人材事業（海外）」は主に海外にて人材派遣・MSP事業等のサービスを提供しております。「G2 Studios事業」は主にスマートフォンゲームの受託開発、受託運営を行っております。「Seed Tech事業」は主にオンデマンド型プログラミングスクールサービスとオフショア受託開発を行っております。「その他」はゴルフ等のスポーツ領域を中心とした、デジタルマーケティング支援を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部売上高及び振替高は第三者間取引価格に基づいています。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結損益 計算書 (注3)
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	G2 Studios 事業	Seed Tech 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	12,755,089	—	2,896,010	163,391	15,814,491	183,346	15,997,838	—	15,997,838
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,763	—	—	12,662	20,425	—	20,425	△20,425	—
計	12,762,853	—	2,896,010	176,053	15,834,917	183,346	16,018,263	△20,425	15,997,838
セグメント利 益又は損失 (△)	1,060,457	—	121,198	△31,652	1,150,002	39,688	1,189,690	△600,280	589,410

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギークス㈱のx-Tech事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△600,280千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△637,480千円及びセグメント間消去取引37,200千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント資産及び負債の金額は、事業セグメントに配分していないため、開示しておりません。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結損益 計算書 (注3)
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	G2 Studios 事業	Seed Tech 事業	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	14,066,896	7,162,173	2,111,376	270,942	23,611,388	128,446	23,739,835	—	23,739,835
セグメント間 の内部 売上高又は振 替高	22,576	—	—	10,560	33,136	—	33,136	△33,136	—
計	14,089,473	7,162,173	2,111,376	281,502	23,644,525	128,446	23,772,972	△33,136	23,739,835
セグメント利 益又は損失 (△)	1,143,739	△135,083	△356,674	△23,132	628,849	4,398	633,247	△542,388	90,859

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ギークス㈱のx-Tech事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△542,388千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△592,788千円及びセグメント間消去取引50,400千円が含まれております。
3. セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. セグメント資産及び負債の金額は、事業セグメントに配分していないため、開示しておりません。

4. 地域別に関する情報

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	G2 Studios 事業	Seed Tech 事業	計		
売上高							
国内（日本）	12,755,089	—	2,896,010	163,295	15,814,394	183,346	15,997,741
その他	—	—	—	96	96	—	96
外部顧客への売上高	12,755,089	—	2,896,010	163,391	15,814,491	183,346	15,997,838

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント					その他	合計
	IT人材 事業 (国内)	IT人材 事業 (海外)	G2 Studios 事業	Seed Tech 事業	計		
売上高							
国内（日本）	14,066,896	—	2,111,376	270,659	16,448,932	128,446	16,577,379
豪州	—	7,162,173	—	—	7,162,173	—	7,162,173
その他	—	—	—	282	282	—	282
外部顧客への売上高	14,066,896	7,162,173	2,111,376	270,942	23,611,388	128,446	23,739,835

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	416.94円	272.09円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	23.20円	△142.75円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	22.99円	—

(注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親 会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	244,215	△1,473,379
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益又は親会社株主に帰属する当期 純損失(△)(千円)	244,215	△1,473,379
期中平均株式数(株)	10,524,644	10,321,116
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (千円)	—	—
普通株式増加数(株)	95,803	—
(うち新株予約権(株))	(95,803)	(—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整 後1株当たり当期純利益の算定に含まれな かった潜在株式の概要	2021年8月26日開催の取締役会 決議による新株予約権2種 (新株予約権の数1,170個) 2023年1月26日開催の取締役会 決議による新株予約権1種 (新株予約権の数650個)	2021年8月26日開催の取締役会 決議による新株予約権2種 (新株予約権の数810個) 2023年1月26日開催の取締役会 決議による新株予約権1種 (新株予約権の数510個)

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当連結会計年度末 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,687,486	3,070,641
純資産の部の合計額から控除する金額(千 円)	391,598	261,114
(うち新株予約権(千円))	(71,007)	(68,820)
(うち非支配株主持分(千円))	(320,591)	(192,294)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,295,887	2,809,527
1株当たり純資産額の算定に用いられた期 末の普通株式の数(株)	10,303,429	10,325,669

(重要な後発事象)

該当事項はありません。